

Gentoo インストール大会

小町守 (usata@gentoo.gr.jp)

日本 Gentoo ユーザ会

2005年3月26日

まずはじめに。

ごめんなさい。。

- 2005.0間に合いませんでした

ごめんなさい。。

- 2005.0 間に合いませんでした
- 今日使うのは 2004.3-r1 です

ごめんなさい。。

- 2005.0 間に合いませんでした
- 今日使うのは 2004.3-r1 です
- もう少し時間があれば。。

メインインストールの流れ

- 1 2004.3-r1 をインストール！
- 2 2005.0 (仮) をインストール。

今日のハイライト

- 1 ちょっと早い早めの 2005.0 体験！
- 2 distcc を使って分散コンパイル

2005.0の特長

- インストールCDの容量を小型化
- QA(クオリティチェック)を通じて質向上
- アーキテクチャ間の協調性の向上
- 全アーキテクチャで同一のスナップショット

2005.0の特長

- インストールCDの容量を小型化
- QA(クオリティチェック)を通じて質向上
- アーキテクチャ間の協調性の向上
- 全アーキテクチャで同一のスナップショット

.....あまり目立った特長はない？

Gentooのインストール

- インストールメディアはなんだっていい！

Gentooのインストール

- インストールメディアはなんだっていい！
- あんなもの飾りです。

Gentooのインストール

- インストールメディアはなんだっていい！
- あんなもの飾りです。
- 2004.3でもかまわないのです。(正当化)

Gentooのインストール

- インストールメディアはなんだっていい！
- あんなもの飾りです。
- 2004.3でもかまわないのです。(正当化)

そういうわけで2004.3でブートして
2005.0(相当)にアップデートしましょう。



distcc とは

- コンパイルを分散 (distribute) する

distcc とは

- コンパイルを分散 (distribute) する
高速化！

distcc とは

- コンパイルを分散 (distribute) する
高速化！
- Gentoo ではデフォルトでサポート

distcc とは

- コンパイルを分散 (distribute) する
高速化！
- Gentoo ではデフォルトでサポート
さすがソースベース！

distcc とは

- コンパイルを分散 (distribute) する
高速化！
- Gentoo ではデフォルトでサポート
さすがソースベース！
- もちろんインストールから使えます！

インストールといえば

Gentoo Linux Handbook¹


- 情報が過不足なく入っている
- インストールだけじゃなくて使いこなし方までカバー
- 昨年全部日本語に訳されました！

¹<http://www.gentoo.org/doc/ja/handbook/handbook-x86.xml>

distcc を使ったインストール

Gentoo distcc ドキュメント²

- distcc に関する説明
- Gentoo のインストールのときに distcc を使う場合の注意
- クロスコンパイルの話

²<http://www.gentoo.org/doc/ja/distcc.xml> 

実習

それでは実際に試してみましよう！

下ごしらえ

- HDD を用意しましょう！
- CD より HDD を優先しないかチェック
 - 1 起動画面で DEL キーをプッシュ
 - 2 BIOS メニューで Boot タブにゴー
 - 3 ATAPI CD-ROM というのが HDD より上にある？
 - 4 なければ + を押して上にしておく
 - 5 F10 キーを押して Save and Exit

実習

distcc を動かす環境のインストール

実習

LiveCD セット！

注意点いくつか

- LiveCD 入れたあと F2 を押してキーマップの設定を忘れずに

注意点いくつか

- LiveCD 入れたあと F2 を押してキーマップの設定を忘れずに
- http 以外は通らないので emerge-webrsync してください

注意点いくつか

- LiveCD 入れたあと F2 を押してキーマップの設定を忘れずに
- http 以外は通らないので emerge-webrsync してください
- stage1 からやるか stage3 を使うかが運命の分かれ目。

stage3 を使う人

stage3 を使う人

- ほとんど distcc の意味がありません。

stage3 を使う人

- ほとんど distcc の意味がありません。
- 普通に emerge distcc でよい

stage3 を使う人

- ほとんど distcc の意味がありません。
- 普通に emerge distcc でよい
- `distcc-config -set-hosts "172.24.34.204 172.24.34.63"` のようにホストを指定

stage3 を使う人

- ほとんど distcc の意味がありません。
- 普通に emerge distcc でよい
- `distcc-config -set-hosts "172.24.34.204 172.24.34.63"` のようにホストを指定
- あとは `/etc/make.conf` の FEATURES に distcc を加えるだけ

stage3 を使う人

- ほとんど distcc の意味がありません。
- 普通に emerge distcc でよい
- `distcc-config --set-hosts "172.24.34.204 172.24.34.63"` のようにホストを指定
- あとは `/etc/make.conf` の FEATURES に distcc を加えるだけ

お好きなものをコンパイルしてください。

stage1 を使う人

stage1 を使う人

- 基本は stage3 と同じ

stage1 を使う人

- 基本は stage3 と同じ
- ただし distcc ユーザを事前に追加する必要がある
(stage1 には adduser コマンドがないため)

stage1 を使う人

- 基本は stage3 と同じ
- ただし distcc ユーザを事前に追加する必要がある
(stage1 には adduser コマンドがないため)
- emerge も `-nodeps` で。

Have fun!